

1 自然観察会

多くの皆さんに富士山の豊かな自然と恵みに触れ、親しんでいただくよう、この夏から秋にかけて、3コースの自然観察会を実施したので、その様子を紹介します。

「富士山の恵み 柿田川」親子で楽しむ自然観察会

日 時：8月25日(土)午前9時30分から正午まで

場 所：柿田川(駿東郡清水町)

参加者：31家族100名

案 内：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内 容：今回、はじめて、将来の富士山の環境保全の担い手である子どもたちとその保護者を対象とした自然観察会を行いました。

富士山の恵みである柿田川の浅瀬に入って、ウツセミカジカやアブラハヤなどの魚類、サワガニやヤマトテナガエビなどの甲殻類などを捕まえて観察するとともに、生き物の命の尊さや柿田川の環境を守るための活動について学びました。



親子で生き物を探しています。



保護者の皆さんの方が熱心のような・・・



みんなが捕まえた魚やカニなどが入っています。



興味深い生き物の説明の様子

富士山の自然林を巡る自然観察会

日 時：9月30日(日)午前10時から午後0時50分まで

場 所：富士山西臼塚～富士山麓山の村(富士宮市)

参加者：34名

案 内：富士常葉大学

内 容：西臼塚から富士山麓山の村までを歩きながら、ミズナラやブナなどの樹木を観察したり、ドングリ拾いなどをしました。

また、自然林と人工林の違い、シカの食害対策などについても説明がありました。



ドングリを探しています。



皆さん、熱心に聞き入っています。

富士山の地質と砂防を学ぶ自然観察会

日 時：10月21日(日)午前8時10分から午後0時30分まで

場 所：大沢扇状地(富士宮市)

参加者：19名

案 内：国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所

内 容：富士砂防事務所内で砂防事業の概要や富士山の土石流対策などについて説明を受けた後、大沢扇状地に移動して、普段は入ることのできない第5床固工、岩樋観測所などの砂防施設を見学しました。



大沢崩れと過去の被災状況、砂防施設の必要性などについて説明を受けました。



天候に恵まれ、富士山がきれいに見えました。
(大沢崩れの様子)